

Chatan

議会だより
ぎかい
No. 124



2026年6月定例会

令和8年8月20日発行

議会HPは
コチラから
Check!



力を合わせて前進

主なCONTENTS

- 議会基本条例 P2-3
- 抗議決議・意見書 P6
- 白比川早期復旧意見書・要請 P7
- 一般質問 P9



02:34:45
からスタート

北谷町議会基本条例を全会一致で可決

町民に開かれ、信頼される議会へ



北谷町議会議場

提案理由

地方分権の進展に伴い、議会の役割と責任は一層増大しています。議会は、町民の負託に応え、町民福祉の向上と町政の発展に寄与することが求められており、その実現のために、議会改革特別委員会で検討を重ね、議会の最高規範となる条例として制定しました。

条例の主な内容

- 議会・議員の活動原則
- 多様性の尊重
- 議会と町民との関係
- 災害時の議会対応
- 議会と執行機関との関係
- 米軍基地から派生する諸問題への対応
- 議会力・議員力の充実



本会議での主な質疑

Q 基地問題を条例に位置付けるのは適切か

- A 北谷町では、基地問題が町民の生命・財産・暮らしに関わる重要課題です。条例は個別政策の結論を定めるものではなく、議会の基本姿勢を示すものです。

Q 条例ができることで議会はどう変わるのか

- A 条例の制定がゴールではなく、説明責任の徹底、議会報告の実施、議員間の活発な討議、行政との健全な関係づくりなどを、実際の議会運営に活かしていく出発点となります。



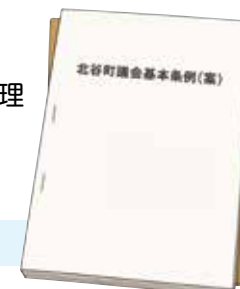
今後の課題

条文の検討過程で、議員全員の合意に至らずに見送った事項や、将来の検討課題として整理した事項があります。「会派制」「答弁書の事前提供」「施策等に関する説明資料」「議決事件の追加」などは、今後さらに議論を深める課題として継続して検討します。

議会基本条例とは 議会の役割や責務、議会運営の基本原則を定める条例です。

施行までに整理すること

- 令和9年4月1日施行
- 規程や申し合わせの整備
- 議会報告会の実施方法の整理



町民の皆さんへ

この条例は、町民の皆さんと議会がともに作り、ともに育てていくものです。今後も、議会報告会の開催や情報発信の充実などを通じて、より開かれ、信頼される議会を目指していきます。



用語解説

■議会改革特別委員会

議会のあり方や運営について、調査・検討を行うために設置された特別委員会。

■全員協議会

議員全員で構成され、重要事項について情報共有や意見交換を行う会議。

議会基本条例のポイント(要旨)



町民に開かれた議会

情報の共有と説明責任の徹底により、町民に信頼される議会を目指します。



町民参加の推進

政策形成過程への町民参加の機会を確保し、多様な意見を町政に反映します。



行政との緊張関係

議会と執行機関は対等の立場で協議し、抑制と均衡の関係を保ちます。



議会力・議員力の向上

調査研究や研修の充実により、政策立案・提言能力を高めます。



多様性の尊重

性別、年齢、障がいの有無、国籍等にかかわらず、誰もが参画しやすい議会を目指します。



災害への備え

災害時においても、議会として迅速かつ適切に対応できる体制を整えます。



基地問題への対応

米軍基地から派生する問題の解決に向け、議会として取り組む姿勢を明確にします。

その他の主な条例改正

議案第26号 北谷町附属機関設置条例の一部改正 特別職報酬等審議会を設置へ

町長、議員、副町長、教育長の報酬・給料のあり方について、学識経験者や住民代表等による第三者機関で審議するため、新たに特別職報酬等審議会を設置します。これは、直ちに報酬改定を決定するものではなく、透明性のある検討体制を整えるものです。



発議第17号 北谷町議会委員会条例の一部改正 委員会の傍聴を原則公開へ

議会基本条例との整合性を図るため、委員会の傍聴に関する規定を見直し、委員会を原則公開とします。必要がある場合には、非公開又は傍聴人数を制限できるよう整理しました。



陳情

※1万円未満は切り捨て

県産品の優先使用について(要請)

陳情者 公益社団法人沖縄県工業連合会、沖縄県JIS協会、沖縄県酒造組合、
沖縄県商工会連合会、沖縄県商工会議所連合会、沖縄県中小企業団体中央会



化学物質過敏症に関する陳情

陳情者 儀保貴子、他1名

要望事項

- 化学物質過敏症に関する情報について、県等の公的機関の情報を活用し、北谷町ホームページで周知を行うこと。
- 児童生徒の健康状態や学校生活上の配慮事項を把握するため、保健調査票等において、化学物質や香料等による体調不良に関する把握方法を検討すること。



財産の取得

取得する財産 北谷町立小中学校LAN機器等機能強化業務に係る機器

令和2年度に整備した町立小中学校無線LAN機器一式が耐用年数を超えて機能不足となっていることに伴い、新たに無線LAN機器一式を購入し、ICTを活用した学習環境の整備を図る。

【予定価格】4,994万円

【契約の相手方】株式会社興洋電子

取得する財産 沖縄県域GIGAスクール第2期学習用端末

令和3年度に整備した学習用端末が耐用年数を経過することに伴い、GIGAスクール構想第2期に向けた新たな学習用端末を購入し、ICT活用教育の継続及び学習環境のさらなる充実を図る。

【予定価格】2億2,886万円

【契約の相手方】OCC・興洋電子・学映システム共同企業体

取得する財産 GIGAスクール指導者用端末

【予定価格】1,294万円

【契約の相手方】株式会社興洋電子



契約

美浜3号BOX補修工事

【契約額】6,615万円

【契約の相手方】有限会社日幸建設



同意

北谷町固定資産評価審査委員会委員の選任について

【氏名】安里 匡平 氏



補正予算



※1万円未満は切り捨て



01:24:28
からスタート

令和8年度 北谷町一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算総額 …… **208億3,797万円** 補正予算額 …… **1,297万円の増**

主な歳入 財産貸付収入5,488万円の増、教育債5,990万円の減など 主な歳出 公園費3,136万円の増、生涯学習施設費5,589万円の減など

令和8年度 北谷町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算総額 …… **37億8,876万円** 補正予算額 …… **25万円の増**

令和8年度 北谷町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算総額 …… **6億2,007万円** 補正予算額 …… **5万円の増**

条例の制定・改正



00:46:33
からスタート

00:00:21
からスタート

北谷町宿泊税基金条例の制定

提出者 議員・委員会・**町長**・住民 条例の **制定**・改正・廃止

提案理由 持続可能な観光地として発展していくため安定的かつ持続的な財源確保が必要不可欠であるという認識の下、令和9年2月の宿泊税導入に向け準備中。宿泊税を財源とした基金を設置することで将来にわたって機動的かつ計画的な施策展開を図るべく本条例を制定する。

北谷町行政手続条例の一部を改正する条例

提出者 議員・委員会・**町長**・住民 条例の 制定・**改正**・廃止

提案理由 聴聞及び弁明の機会の付与に係る通知を公示により行う場合の方法について行政手続法が改正され、北谷町行政手続条例に規定する公示の方法について所要の見直しを行う必要があるため。

北谷町印鑑条例及び北谷町手数料の特例に関する条例の一部を改正する条例

提出者 議員・委員会・**町長**・住民 条例の 制定・**改正**・廃止

提案理由 出入国管理及び難民認定法等の一部を改正する法律の施行により個人番号カードとしての機能を付加した在留カード及び特定永住者証明書の交付申請が可能となることに伴い当該在留カード等を用いた証明書交付サービスが利用可能となるため。

専決処分



北谷町税条例の一部を改正する条例

提出者 議員・委員会・**町長**・住民 条例の 制定・**改正**・廃止

提案理由 地方税法等の一部を改正する法律が令和8年3月31日に公布され、北谷町税条例の一部を改正する必要が生じた。主な改正概要は、令和8年度税制改正の大綱に係る物価高への対応措置として、物価上昇に連動して基礎控除等を引き上げる仕組みに関する改正のほか、軽自動車税の環境性能割の廃止等。

北谷町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

提出者 議員・委員会・**町長**・住民 条例の 制定・**改正**・廃止

提案理由 地方税法施行令等の一部を改正する政令が令和8年3月31日に公布され、北谷町国民健康保険税条例の一部を改正する必要が生じた。改正概要は、国民健康保険税の課税限度額の見直し、5割軽減及び2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の見直し、子ども・子育て支援金の軽減措置の追加。



00:38:13
からスタート

白比川の早期復旧及び河川改修事業の促進を求める意見書



03:09:55
からスタート

提出者 総務財政常任委員会 委員長 喜友名盛充

主な提出理由

令和8年5月23日、沖縄本島地方では線状降水帯の発生により記録的な大雨となり、本町においても二級河川白比川の増水・氾濫により、床下浸水や護岸及び町道の損壊などの被害が発生した。白比川ではこれまでも浸水被害が繰り返されており、地域住民からは河川改修の早期実施や治水対策の強化を求める声が寄せられている。また、沖縄県が進める河川改修事業は、事業完了までなお相当の期間を要する見込みであることから、防災・減災の観点から更なる事業の推進が求められる。加えて、今回被災した護岸及び町道の早期復旧は、地域住民の安全確保と日常生活の回復のため急務である。町民の生命、財産及び安全を守る立場から、白比川の早期復旧及び河川改修事業の促進について、特段の措置を講じられるよう強く要請する。

■沖縄県知事宛の要請事項

- 被災した護岸及び道路について早期の災害復旧を実施し、地域住民の安全確保と生活環境の回復に万全を期すこと。
- 白比川河川改修事業について必要な予算を確保し、事業の更なる推進を図るとともに、早期完成に向けて整備を加速すること。
- 白比川の河川管理施設が本来の機能を十分に発揮できるよう、河道内の堆積土砂の除去、除草や伐採及び護岸等の点検・補修を含めた適切な維持管理に努めること。
- 北谷町と連携し、河川水位情報や避難情報等を迅速かつ確実に伝達できる体制の充実強化を図るとともに、防災・減災の観点から、今回決壊した場所付近に河川監視カメラ及び水位計を設置すること。

■衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）宛の要請事項

- 被災した白比川護岸及び町道の本復旧工事が最短で着工できるよう、災害復旧事業の早期採択及び必要な財政支援を行うこと。
- 白比川河川改修事業をはじめとする県内河川整備及び治水対策を着実に推進できるよう、沖縄県に対する沖縄振興公共投資交付金の必要額を確保するとともに、その増額を図ること。

要請行動 令和8年8月4日、北谷町議会として一致団結し、沖縄県へ要請しました。



抗議決議・意見書 米軍基地関連



米軍嘉手納基地内でのパラシュート降下訓練強行に対する抗議決議・意見書

趣旨説明

同訓練は伊江島補助飛行場の不具合を理由に、令和5年1月2日から嘉手納基地で例外的措置として訓練を行ってきたが、昨年12月に伊江島補助飛行場の修復工事が完了したにもかかわらず、米軍は例外的な場合の基準、判断が曖昧なまま一方的な解釈で訓練を強行したことは看過できるものではない。

主な質疑

問 防衛大臣も基本的には伊江島でやると、例外的なものはそれに伴う理由が必要だという趣旨で話をしている。

その辺りの認識と情報があるのか

答 沖縄防衛局は新聞報道の範囲でしか承知していないとの回答。

賛成○ 15名
反対× 2名
賛成多数で



02:36:43
からスタート

在沖米海軍兵による暴行事件に対する抗議決議・意見書

趣旨説明

本町桑江1丁目の店舗先路上で県内在住の男性2人に暴行を加えたとして、在沖米海軍が逮捕される事件が発生した。県内では米軍人、軍属による飲酒絡みの事故や事件が後を絶たず地域住民に不安を与えており、極めて遺憾である。

主な質疑

問 防衛局への確認はどのようにして行ったか

答 県警から沖縄防衛局、役場基地安全対策課のルートで情報を提供頂いている。

問 被害者のけがの程度、転んで頭を打ったのか被害者も飲酒をしていたのか

答 胸部を押されけがはない。被害者の飲酒は情報提供のなかではなかった。

賛成○ 16名
反対× 1名
賛成多数で



02:55:48
からスタート

白比川の現地調査

■総務財政常任委員会による所管事務調査

日 時 6月10日(水)

場所・目的 令和8年5月23日の記録的豪雨により増水、氾濫した白比川を現地視察。町土木課及び県中部土木事務所からの聞き取り調査を実施した。





詳しくは動画をCheck

公民館施設の老朽化の状況と今後の維持・更新計画は

A 40年以上経過した施設が複数存在。3年に1回、特定建築物定期調査し、状況把握。更新計画、北谷町公共施設等総合管理計画及び社会教育施設等個別施設計画に位置づける



公民館の老朽化の状況と維持・更新は、どうなっているのか

問 財政負担の軽減と国・県補助金の活用を伺う
答 各施設の老朽化の状況や地域ごとの事情を踏まえ、計画的に平準化。財源は、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第8条に定める民生安定施設の助成活用を想定。また多角的な視点で財政負担の軽減について検討。

北谷町の公民館の現状

防犯灯の管理方式と負担を問う

問 自治会管理の電気料金や修繕費などの負担状況を町は把握しているか。自治会間で負担に差がある場合、統一化や是正を検討する考えはあるか



無願埋立地(ゼロ番地)の今後の利活用は！

問 ゼロ番地を駐車場として暫定利用する可能性について、国との協議状況は
答 県が実施した土壌汚染調査にて、汚染物質が確認されたため、除去に向けた業務が進められている。今後実施される汚染除去作業の支障となり、現時点においては困難。

西海岸地域

答 各自治会の負担を軽減するため電気料金や建て替えに関する補助金を交付。また防犯灯に関する相談も随時受付。管理状況や負担状況の把握に努めている。管理の統一化は検討していない。

交通安全・路上駐車対策

問 町道宮城1号線・2号線、砂辺浜川線の電柱に英語表記を追加する件について、前回質問後の進捗を伺う

問 ゼロ番地の活用が、宮城・砂辺地域の路上駐車対策にどの程度寄与すると考えるか、試算や検討状況は
答 計画策定の中で検証しているが、平成20年の計画策定から時間が経過している。利活用が具体化するタイミングで改めて算出を実施する予定。

問 マリンスポーツ拠点(サーフィン・SUP・ダイビング等)の海浜利用施設としての整備可能性について、町の見解を伺う
答 無願埋立地の将来的な利活用に向け、北谷町無願埋立地跡地利用基本計画を策定している。海辺の環境を生かした交流の場づくりとマリンレジャーを中心とした多様な交流を創造することだけでなく、路上駐車場の解消など、周辺生活環境の改善にも寄与するものと考えてる。

答 運転者への注意喚起を目的に、英語で「Slow down」と標記した看板を電柱へ設置。多言語による交通安全内は、交通安全看板や路面標示等も活用し、効果的な周知方法について検討。

ほかに、次の質問をしました。
●LED化事業と今後の費用負担について

定例会 議決結果賛否一覧表

第561回 北谷町議会定例会 【令和8年6月9日(火)～6月18日(木)】

議 案	議決結果	議席 氏 名																	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
専決処分の承認(北谷町税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認(北谷町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北谷町行政手続条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北谷町附属機関設置条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北谷町印鑑条例及び北谷町手数料の特例に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度北谷町一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度北谷町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度北谷町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北谷町固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米軍嘉手納基地内でのパラシュート降下訓練強行に対する抗議決議	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○
米軍嘉手納基地内でのパラシュート降下訓練強行に対する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○
在沖米海軍兵による暴行事件に対する抗議決議	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
在沖米海軍兵による暴行事件に対する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
北谷町宿泊税基金条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
美浜線3号BOX補修工事請負契約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得(北谷町立小中学校LAN機器等機能強化業務に係る機器)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得(沖縄県域GIGAスクール第2期学習用端末)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○
財産の取得(GIGAスクール指導者用端末)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
県産品の優先使用について(要請)	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
化学物質過敏症に関する陳情	不採択	○	退	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	○	○
北谷町議会基本条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北谷町議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
白比川の早期復旧及び河川改修事業の促進を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
白比川の早期復旧及び河川改修事業推進に必要な財政支援の拡充を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表示の説明
「○」:賛成者
「公」:公務の欠席者
「看」:看護のための欠席者
「除」:法律により議案の採決に加わらない者(除斥者)
「議」:議長
「×」:反対者
「病」:傷病の欠席者
「介」:介護のための欠席者
「副」:議長に事故等があり議長の職務を行う副議長
「退」:退席の意思を表明した退席者
「産」:出産の欠席者
「配」:配偶者の出産補助の欠席者
「ー」:議場に不在
「育」:育児の欠席者
「欠」:所用の欠席者
議長の場合、過半数議決については、議決に加わる権利(表決権)はなく、可否同数の場合に決定する権利(裁決権)があります。特別多数決で法定されたものは議長にも表決権があります。

閉会中の継続審査・議員派遣の件

継続審査	北谷町学校保護者連絡協議会 意見書【文教厚生常任委員会】
議員派遣の件	町村議会常任委員長・副委員長実務研修会 令和8年8月19日(水)



Q 5月23日の白比川の氾濫。被害及び対応状況を伺う

A 河川護岸延長約60mが被災。町道がガードレールとともに崩落。応急対策を早期に完了するよう施工を進めている



詳しくは動画をCheck



5月23日の大雨による白比川の決壊現場

問 白比川の氾濫及び崩落、台風6号の被害は

答 5月23日の大雨、線状降水帯発生に伴い白比川が氾濫した。また、護岸の一部が崩落し町道が決壊した。被害及び対応状況を伺う。

答 被災後、翌週から応急・復旧に着手。台風第6号接近前には被災した護岸の保護を実施。今後氾濫対策として、土砂の撤去、樹木の伐採等の要望も中部土木事務所へ依頼。

問 会計年度任用職員の生理休暇及び家族看護休暇等を有給にする必要があると一般質問で取り上げてきた。その後の状況は

答 令和8年4月から育児時間

問 会計年度任用職員の生理休暇及び家族看護休暇等を有給にする必要があると一般質問で取り上げてきた。その後の状況は

答 令和8年4月から育児時間

会計年度任用職員等について

事業費ベースで約56%。平成13年度から白比川の工事は、平坦地区の返還と支障除去の影響を受け、遅れている。今回の被災を受けて、町民の生命財産を守る観点から、一刻も早い事業の進展を要請していく。

PFASを問う

問 PFASの血中濃度検査を実施して頂きたいが、沖縄県の方針を伺う

答 令和7年度に設置されたP



各小中学校及び公共施設への生理用品の設置

問 小中学校及び公共施設への設置状況は

答 各小中学校3年生から6年生のトイレの個室に設置。各中学校も全学年のトイレの個室に設置。現在、役場庁舎1階女子トイレに、本年5月の途中から試験的に生理用品を設置し、無料提供している。

生理用品の設置及び配布

休暇、生理休暇、妊婦通勤緩和休暇、妊娠中・出産後健康診査等休暇、家族看護休暇、短期介護休暇及び骨髄提供休暇を有給化した。

問 沖縄県は2026年度に県民の健康不安などに対応する相談窓口を設置する方針を明らかにした。本町は100%北谷浄水場の水が供給されており飲料水を購入する町民も少ない。設置に向けた進捗を伺う

答 令和8年度中に相談窓口を設置する方針。現在は適正に相談対応を実施するためのマニュアルの整備に向けて、ワーキンググループの設置の調整を進めている。

ほかに、次の質問をしました。

- 米軍基地問題について
- 町道上樋川6号線の転回広場について

Q キャンプ瑞慶覧インダストリアル・コリドー地区の跡地利用構想と、北谷城の返還ライン外にある県道130号線沿いの米軍施設の追加返還の進捗は

A 北谷番所跡等の歴史資源の保全を図るため、緑地、公園用地の確保を計画。既に返還が示されている地区の早期返還と、現在進めている跡地利用計画の推進が最優先。追加返還要請は慎重に見極めたい



詳しくは動画をCheck



北谷城と連携したまちづくりを問う

問 完成を待つのではなく、プロジェクトアクションマップや、ライトアップ演出、A・AR技術を活用し、機運の醸成と観光振興を図る考えは

答 10%しか調査が進んでいない。何が出来るか今後検討。

問 北谷城跡や周辺を歴史、文化、観光の拠点と位置づけ、西海岸の夕日や夜景を活用した展望施設整備や、新たな交通システムの導入可能性を調査研究するべきでは

答 地権者主体の組合施行を予定。既に地権者間の合意形成の熟度を高める重要かつ着実な進捗状況にある。隣接の北谷城は、建物と北谷城が景観的に調和した地区計画を導入予定。インダストリアル・コリドー地区と連携したまちづくりを進める。

スケートボード場建設



将来を見据え、道の駅などと融合した建設で、北谷城を活用したまちづくりを(北谷町ホームページより)

問 方向性と進捗状況は

答 当初の目的の東部地域の子どもたちの居場所づくりのスケートボード場建設は難しい。今後は、民間活力導入の可能性を検討し計画を進める必要がある。

問 町道砂辺浜川線、北大地付近の交差点の近年の事故件数と直近の事故件数は

答 沖縄警察署によると、町道砂辺浜川線はコザ信用金庫北谷支店付近から砂辺公民館までの区間は、令和5年から令和7年までの3年間で合計33件の交通事故が発生。北大地裏側の十字路の交通事故は、令和5年度か

道路行政・交通安全対策は



まずは命を守るための減速対策を！

問 一時停止の標示はあるが、見通しが悪く事故が起こる。カラー舗装や注意喚起、ハンブ設置が可能か

答 警察署と連携し、朝の通勤時間などに警察官の立ち寄り等の依頼をかけた。

問 観光バス等の検討も行ってきたと評価点検にあったが、マイクワバスを町が借用し、遠征する団体へ支援を行うべきでは

教育委員会移動学習バス事業・社協の福祉バス

ら令和7年度までの3年で物損事故が8件発生。

子どもエイサー

問 子どもエイサーへの支援体制は

答 宇地原区と桑江区は、地域公民館活性化事業補助金を、砂辺区と栄口区は、学力向上推進事業補助金を活用していると聞いている。

ツルモドリについて

問 実態把握は

答 町内全域を対象とした詳細な分布調査等は実施していないが、町が管理する施設を中心に関係部署と連携し状況把握に努める。

ほかに、次の質問をしました。

- 北谷町の町産品について



町道旧役場前線道路工事の事業計画は

A 他路線の改良事業や維持補修工事の進捗状況を見ながら時期を検討し、執行していく



詳しくは動画をCheck

問 伊礼原遺跡公園内のウーチヌカーまた、重要な場所の中の水場を水質検査の予定があるか

答 1回当たり約11万5千円。令和8年度4月からPFOS、PFOAについては水道法に定める水質基準項目に追加されたことにより、3か月に1回の検査が義務付けられている。

問 本町でも令和4年度から年2回、PFOS及びPFOA、PFHXSの測定を実施しているが1回あたりの検査費用はいくらか

答 北谷浄水場は定期的に水質検査を実施しており、結果は国の基準値を下回る濃度となっており、本町に安心、安全な水道水が供給されている。

問 2016年1月に沖縄県企業局が供給する水道水からPFOS等が検出されたことが公表された。安心安全な水道水を本町に安定的に供給しているか

答 北谷浄水場は定期的に水質検査を実施しており、結果は国の基準値を下回る濃度となっており、本町に安心、安全な水道水が供給されている。

有機フッ素化合物PFOSを問う

答 県と連帯し、環境の実態把握に努め、独自の環境調査も注視しながら必要性について検討していきたい。



町民に安心安全に飲める水の提供を

謝刈公園の東屋建て替えについて

問 謝刈公園内では老人会のグラウンドゴルフ、子ども達の遊び場として利用されているが突然の雷雨や熱中症対策としては東屋が小さく、新しく大きな休憩所に建て替えができないか

答 現地の実態把握に努め公園整備計画で将来的な建て替えや



公園整備で子供から高齢者まで楽しく過ごせる空間を

上勢頭地区公共施設複合化基本計画は

問 複合施設の建設工事費・外

問 令和元年度の行政懇談会の中で、前向きに検討し早急にやりたいとあったが

答 長寿命化計画やその他の事業の進捗をみながら、高齢者福祉、いろいろなイベントが老人クラブを中心に行われているようなので、そういった観点も踏まえ、今後検討していきたい。

問 老人会、商工会の皆さんから何時頃完成予定かと聞かれるが、今の計画で令和9年度に完成するのか、もしくは令和何年度に完成するのか予想がついているのか

答 現状では2032年が最短期間。

問 構工事費の24億円と土地造成・上下水道等インフラ整備に係る総事業費の概算予想金額を伺う

答 昨年度の測量設計、雨水計画検討業務の成果を踏まえ概算事業費及びVFMの整理を進めており、総事業費は引き続き検討中。

観光需要の増とは別で家賃の高騰の要因は

A 家賃高騰は県全体の傾向。建築費上昇や人件費高止まりが背景にある一方、本町のまちづくりによる都市価値の向上も要因



詳しくは動画をCheck



家賃の高騰について伺う

問 一般的に米軍人に対して米国から支払われる海外居住手当を把握しているか

答 沖縄防衛局等に照会したが「回答する立場にない」とのこと。

問 居住実態など国から報告を受けていたと確認しているがいつ頃まで伝達されて内容は何だったのか

答 基地外に居住している実態の公表は平成26年以降情報提供はされていない。

問 平成26年以降、国から回答が得られない中、独自に調査を行ったことはあるのか

答 町独自の調査には法的な制約もあり基地外の居住者実態把握が進まない。今後も国や県、防衛局等と協議し、連携しながら実態把握に向けて要請を続けていく。

問 本年5月より基地外に居住する米軍人に対して米国から支払われる海外居住手当が引き上げられた情報を把握しているか



住環境を整えるため実態把握を

答 他国の制度の動向について日本政府として答えられない事項と回答があった。

問 米軍人に対して米国から支払われる海外居住手当がその地域の住宅事情に及ぼす影響をどう捉えているか

答 米軍人等への住宅手当が比較的高水準であるため、それを見込んだ高めの家賃設定が行われ、結果として町全体の家賃相場を押し上げている可能性もある。

問 住民登録のない米軍人等の居住実態についてどのように把握し、それを住宅施策に活かしているのか

答 米軍人等の居住実態は正確

に把握できていないため、既存データを活用し住宅セーフティネットの取組みを進めている。

問 地元の不動産業者は、米軍人向け住宅について何か意見しているか

答 過去に不動産業者へ行った調査では、本町は米軍向けの賃貸需要があることや、県外・国外からの居住者で住民票を置かないケースが多いと意見があった。

問 地元住民が住みやすい家賃設定や優遇策が人口増加につながると考える。本町はこれをどのように受け止め、住宅施策へ反映したのか

答 家賃助成の提案はあったが、かえって全体的な家賃高騰を招くおそれがあるため実施には至らず、子育て支援や給食費、医療費無償化、家賃低廉化事業など総合的な定住促進策を進めている。今後も住民負担の軽減につながる施策を検討していく。



住み続けたいが叶うまちへ

ほかに、次の質問をしました。
●青年会について
●白比川について



みやざと つとむ
宮里 勉 議員



北谷ドームや陸上競技場に大型気化式冷風機やミストファン、ドライミストなどの冷却設備を設置できないか



詳しくは動画をCheck



競技環境に与える影響や維持管理及び安全面など調査検討する

問 県と調整し、上流に監視カメラや、水位の測定ができる装置を設置できないか
答 今後必要であれば検討。
問 町道謝刈1号線及び謝刈中央線の樹木を定期的に剪定できないか

問 県と調整し、上流に監視カメラや、水位の測定ができる装置を設置できないか
答 今後必要であれば検討。
問 町道謝刈1号線及び謝刈中央線の樹木を定期的に剪定できないか

問 崩壊した町道、擁壁、ガードレールの復旧予定は
答 6月12日夕方5時半から片側交互通行で暫定供用を開始。被災した護岸及び町道の本復旧は、8月中旬から下旬にかけて災害査定を県と町が受け、公共土木施設災害復旧事業の活用を予定。
問 負傷者等の報告はない。物的被害は、床下浸水2件、複数の住宅で玄関前や庭先まで浸水を確認。白比川沿いの道路の一部が崩落し交通規制を実施。
問 5月23日の集中豪雨で白比川沿いの町道が一部陥没しガードレールや擁壁が崩壊した。人的及び物的被害の状況は
答 負傷者等の報告はない。物的被害は、床下浸水2件、複数の住宅で玄関前や庭先まで浸水を確認。白比川沿いの道路の一部が崩落し交通規制を実施。

東部地域の環境整備と防災

問 道路に越境している樹木は、町有地内は町で伐採作業を行う。民有地の場合は所有者へ管理用地の適正管理として越境樹木の剪定を依頼する。
答 道路に越境している樹木は、町有地内は町で伐採作業を行う。民有地の場合は所有者へ管理用地の適正管理として越境樹木の剪定を依頼する。



定期的に道路側の樹木を剪定できないか

問 謝刈1号線の町有地の部分は、いつ頃剪定作業を予定しているのか
答 他の伐採場所との状況を見ながら土木課で伐採を進めたい。

スポーツ施設・スポーツ関連事業を問う

問 北谷公園プール横の海岸線沿い園路について、プールサイドの街灯が園路に面しているのて日没後は点灯させて安全のために明るくできないか
答 本来は、高潮や波浪から背後地を守るための施設兼管理用通路で歩行者の利用を意図して



町民が快適にスポーツができる環境を！

整備されたものではない。当該場所でジョギングやウォーキング等の利用が多いことは承知しているが、天候によっては波しぶきを受けるリスク等もあり危険も伴う。夜間の散策や運動は、安全のため照明設備が整った北谷公園内の園路を利用頂くよう啓発を含め周知に努める。

子どもの居場所づくり

問 町でスケートボードの練習器具、障害物（セクション）を確保して希望する団体に貸出できないか
答 現時点では厳しい。課題として、利用者の安全管理の観

点から、貸出器具の使用中的事故に対する責任や保険の対応に加えて不適切な使用方法による事故防止への対策が難しい。貸出し後の使用場所の管理が困難。住宅地や公園などで使用された場合、騒音による地域住民への影響や施設破損のリスクが想定され、トランプルの責任の所在や修繕費用の負担が不明確。さらにはスケートボードのセクションは大型であることから、物品の保管場所の確保と盗難等への対応が難しいことなどがある。



北玉小学校前にコミュニティバスの停留所を移動できないか



仮に謝刈公園の停留所を移動させた場合、その停留所が担っているサービス提供エリアで公共交通の空白地帯が生じることから停留所の移動は困難



詳しくは動画をCheck



みやざ ひろし
宮里 廣 議員

一般質問

一般質問

教育行政について

問 線状降水帯の影響で町道白比川線の一部やガードレールなどが崩落。床下浸水も起こった。近年の大雨発生時の対応は
答 令和8年5月23日洪水警報発表時に災害警戒本部を設置。消防班による排水作業や土のう設置、警察及び町土木班で交通規制等を実施。
問 中部土木事務所の河川工事、町道白比川線の改修工事は
答 8月中旬に沖縄県と北谷町が災害査定を受ける予定。災害査定で国庫補助金交付額決定後、河川工事が発注される予定。県の想定では年を越すと伺っている。年明けから町道の本復旧に入りたい。

問 新学校給食センターが年内に完成する。給食配送車3台の側面に、北谷中学校及び桑江中学校の美術部生徒に絵を描いてもらえないか
答 学校教育と地域社会の連携を図り、生徒の創造性や表現力を育成する観点から意義深い取り組みであると考えている。学校との協議やデザイン、仕様の調整、実施体制の構築やスケジュール調整など今後、調査研究する。



配送車の側面に子どもたちのデザインを

落書き防止の取組は

問 昨年12月に沖縄署、町役場、栄口区自治会、桃原区自治会、沖縄地区防犯協会、北谷中学校



落書きのない、観光立町にふさわしい綺麗な町を望む！

清掃ボランティア、地域住民など約25人で、栄口区と桃原区の境界にあるらせん状スロープ連絡路の落書きを消した。新たな落書き防止のため北谷中学校美術部に壁画を依頼できないか
答 地域の皆様が懸命に美化に努めた施設に再び落書きされたことは大変遺憾。「落書き禁止」の貼紙の枚数を増やし対策を強化する。壁画による落書き対策は管理上の問題と、公的な施設のため、特定のデザインを長く掲示することへの合意形成にも一定の時間を要するため、現時点での依頼は考えていない。
問 町を挙げて落書き防止に取り組んでいるか
答 令和6年度から土木課で、都度、被害届を提出。落書き防止の看板等も強めた形での警戒ができないか検討。

指定ごみ袋が欠品する見通しへの対応は

問 中東情勢の影響で原油由来のナフサを原料とした資材が不足し、家庭用ごみ袋の安定的な供給が困難となる見通し。対応は
答 購入できない場合は透明袋か半透明袋を用いてごみを出す緩和措置を実施。令和8年5月18日から安定供給が可能となるまでの間。指定ごみ袋の供給状況や今後の情勢等を勘案しながら終了時期を改めて判断。

ほかに、次の質問をしました。
●北谷ニライハーリー開催について



たまなは 玉那覇 淑子議員



詳しくは動画をCheck

Q 食物アレルギー等で給食を利用できない児童生徒の家庭に、給食費無償化を踏まえた負担軽減措置は可能か

A 今年度当初予算に、アレルギー等弁当補助として予算を措置

問 令和8年年度から、国が公立小学校の学校給食費無償化を開始、実際の財政負担軽減額は、交付金交付申請額から約1億1千万円。

答 国の制度は給食費無償化と表現されていたが、現在は学校給食費の抜本的な負担軽減の表



アレルギーのある児童にも公平な支援を

問 国、県が負担する小中学校給食費無償化による本町への影響について伺う

答 アレルギー対策で、弁当持参が一定数いるというが、把握しているか

問 今年度、小学校は弁当で対応の児童4人、中学校は、0人。

記に変更されている。制度内容の違いや予算執行、制度運用への影響があるのか

答 予算執行や制度運用に直接的な影響は受けない。

子育て支援について伺う

問 国は保育士の配置基準を見直したが、0歳児や1、2歳児の基準は据え置かれている。乳幼児期の手厚い保育と保育士の負担軽減を、どのように評価し、町内保育施設の実態をどう把握しているのか

答 町内の保育施設には、国基準を上回る配置を行う施設がある一方で、保育士確保に課題があり、配置基準ぎりぎりの体制の施設もある。待機児童の増加を防ぐため保育士確保を支援し、施設報告や指導監査等を通じて実態把握に努めていく。

問 保育士不足は、子育て世帯の生活に直結する問題である。保育士確保の現状、課題、今後の確保策は

問 「ちーたん商品券」配布（発送）状況は

答 5月下旬から配布。ゆうパックでの対面配布を実施、対象世帯が約1万3,500世帯と多く、7月中旬の全世帯配布完了を目標としている。

問 物価高対応子育て応援手当の支給状況は

答 子育て世帯へ児童1人当たり2万円の給付金を支給し、令和8年6月時点で410件、622名に総額1億2452万円を支給。

問 町として、バス通学費の援助も含めた支援の必要があると考える。調べる方法はないのか

答 県へ確認した結果、調査は行っていないため、把握できない。

問 町内のバス通学者数は、小学生は数人、中学生は10数人と答弁があったが、実際は多くの中学生がバスを利用して通学していると見受けられる。その人数は実態を反映したもののか、どのような調査に基づくデータか



健やかな育ちを支える、保育環境と保育士確保の充実を

● ほかにも、次の質問をしました。
● PFAS汚染に関する本町の取組について



Q 5月23日から24日の大雨による白比川の氾濫及び町道白比川線崩落の被害状況と本町の対応は

A 床下浸水2件、複数の住宅で玄関前や庭先まで浸水、道路崩落や冠水による交通規制。町は災害警戒本部を設置し、避難所開設準備、排水作業、土のう設置などを実施、被害拡大防止に努めた



詳しくは動画をCheck



ともり つとも 友利 勉 議員

町道白比川線の崩落について伺う

問 町道白比川線の緊急改修工事の進捗と、通行規制解除の見通し、また白比川河川崩落に対する本町の県への要請内容と対応状況は

答 県は白比川の約60mに及ぶ護岸損壊を確認、大型土のうや玉石による応急復旧を実施、また崩落した町道白比川線は応急工事後、片側交互通行による暫定開放が行われ、本復旧は公共土木施設災害復旧事業を活用して進められる予定。町は発災直後から県へ護岸及び道路の応急復旧を要請。

問 白比川は、これまでも大雨のたびに氾濫して、周辺住民への被害が発生。白比川の氾濫防止に向けた県の拡幅工事計画の内容と、本町の認識は

答 下流域の浸水防止を目的とした河道拡幅、護岸整備が進められ、完成は令和18年を予定。



住民は不安を抱えている
県へ早い河川拡幅工事の要請を

物価高騰に伴う町民生活支援について伺う

問 こどもの貧困対策の一環として、ひとり親家庭への運転免許取得支援を本町でも実施する考えは

答 県の事業内容を周知し、ひとり親家庭のニーズを把握するため、関係機関と連携し調査研究を進めていくと同時に、既存の支援制度である児童扶養手当、母子及び父子家庭等医療費助成事業、自立支援訓練給付金等の周知を引き続き行い、ひとり親家庭の経済的自立と生活の安定に向けた支援を推進。

問 町内の子育て世帯は、小学生は数人、中学生は10数人と答弁があったが、実際は多くの中学生がバスを利用して通学していると見受けられる。その人数は実態を反映したもののか、どのような調査に基づくデータか



小中高生の学びや成長が、経済状況に左右されない支援を受けた。

● ほかにも、次の質問をしました。
● 美浜駐車場について
● 児童生徒の部活動支援について
● 米軍キャンプ桑江周辺湧水のPFAS汚染について



つかやま 津嘉山 えり子 議員



詳しくは動画をCheck

Q 桃原公園のイジュの花は自生するもので最南端と
言われているが対策は

A 人為的な手を加えることは最小限に留め、
自然の推移を見守る方針



医療品の負担増は高齢者へ与える
影響が大きい。何らかの対応を。

高齢者福祉

問 O C T 類似薬の患者負担増は、年金を収入とする高齢者にとつては負担が大きい。本町で何らかの対応は

答 高齢者の受診控えによる重症化に繋がらないよう、地域包括支援センターにおける訪問活動のほか、保健師とも連携し、健康維持及び介護予防に努める。

問 湿布薬には痛みの軽減の効果があがるが、窓口負担が増えれば高齢者の外出控えが生じ、他の疾患に罹患する可能性もある。町独自での対策は

答 国保財政が赤字なので、追加の措置は検討していない。生活の困窮等で医療費の支払いが難しいと相談があれば、

問 若年性認知症は、子どもが家事や患者を看ないといけなくなり、ヤングケアラーにも繋がる。対象の家庭がないか把握する取り組みが必要では

答 福祉課に相談があれば、家庭の状況に応じたより専門的な窓口の照会を行う。その家庭に子どもがいる場合は、子ども家庭課を案内しヤングケアラーの支援にも繋いでいく。

問 新型コロナウイルスが5類移行して3年となるが、高齢者が感染すれば死亡率は依然として高く、



災害時にペットも同伴で避難出来るよう、議論の加速を！

災害時避難について

問 環境省は、災害時のペットの避難に関する自治体向けの

問 5千円は高く感じる。近隣市町村も同様なのか

答 近隣市町村と比較すると中間あたりの金額。うるま市等が7千円で、嘉手納町等は3千円、読谷村は1千円となっている。

問 ワクチンの接種料金は

答 自己負担額は5千円。

問 若年層とのリスクの差が顕著。対策は

答 65歳以上の町民を対象に定期接種を実施、発生状況に応じて感染予防に関する周知啓発を行っている。

Q 町内の湧水からPFASが見つかったと報道があった。
汚染の時期、原因など情報提供はあったか

A 沖縄防衛局に汚染源を把握しているか、
汚染源を除去するための対策を実施しているか等を照会している



詳しくは動画をCheck



なかえま 仲栄 眞恵美子 議員

有機フッ素化合物による 町内環境の汚染を問う

問 その後の処理はどのようにされたか、浄水場の改修はされたのか

答 米軍がPFASの新基準を満たすため、北谷町からの給水に切り替えたいというのを確認しているので、浄水場の改修は行われていないと認識。



子ども達が安心して遊べる川辺を

自治会制度の強化は

問 地域で暮らす高齢者を支える自治会の協力は大きい。未加入の区民には自治会が町の事業計画への参入は無関心である。特に若い世代の加入と各自治会

の区民である行政職員の協力を促すことはできないか

答 子育て世代や若年層に自治会活動の意義や必要性を理解して頂けるよう自治会と連携しながら情報発信や参加しやすい環境づくりに取り組んでいく。町職員も地域住民の一員として自治会活動に関わっている事例があるので、引き続き地域とのつながりを大切にする意識の醸成に努める。

問 自治会活動の衰退は町行政にも大きく影響すると思う。ぜひ町も自治会加入を促進していることをアピールして頂きたいと思うが。

答 自治会は地域に住む皆様が自主的に組織する住民自治組織と認識。自治会で取り組んでいる地域の活動をLINE等で発信していると思うが、自治会アプリを導入し、自治会の魅力を発信できるように支援をしている。



みんなで自治会に加入して
住みよいまちづくりを

待機児童対策と保育士確保事業

問 新規参入の保育所の建設時点での定員と入所実態はどうか。

答 新規認可保育所「ふくぎ保育園」は認可定員90人、利用定員50人、入所児童数44人。認可定員と利用定員に差があるのは、運営事業者から「開設当初は新規採用の割合が高く、運営の安定化を図る必要性がある」との申し入れがあったため。

部活動の現状

問 部活動の実態と今後の方向性について伺う

答 北谷中学校で運動系が9つ、

文化系が2つ。加入率は56%。桑江中学校で運動系が9つ、文化系が2つ。加入率が54%。今後の方向性として学校部活動が担ってきた教育的意義を継承発展させながら、教職員の負担軽減につながるよう、令和11年度を目標に、休日は原則全ての学校部活動を地域展開の実現を目指していく。

再犯防止推進計画

問 再犯防止推進計画の策定の進捗状況を伺う

答 今年度中に地域福祉総合計画と一体的に策定する予定。

指針を近く改定する。本町の対策は

答 北谷町地域防災計画では、ペットの同行避難も考慮し、指定緊急避難所等にペット専用のスペースの確保、飼育ルールを定めることが示されている。災害担当や沖縄県、獣医師会等の関係機関と連携し、ペットの受け入れ体制の確保に取り組む。

ほかに、次の質問をしました。

- 安全対策について
- 桃原公園について
- 公共施設女子トイレのナプキン設置について



Q 学校施設等長寿命化計画において、改修・整備事業の進捗状況は



A 年次的に整備を行っており、おおむね計画に沿って取り組んでいる

災害対策

問 台風シーズンに空調のない体育館を避難所として開設することの安全性を伺う

答 現在、学校体育館の空調設備の整備を進めている。



各体育館の空調整備で災害時の熱中症対策！

問 北谷中学校のグラウンドで水がたまったり、電気、水等がつながっていない。対応は

答 今後、整備に向けて取り組んでいく。

学校の設備等について

問 体育館の空調の進捗、また照明のLED化の状況を伺う

答 空調は、今年度の実施設計に向け、発注の準備をし、照明LEDは今年度の発注予定。

問 外国人観光客・外国人住民が多い。台風における多言語の避難情報を伺う

答 多言語に対応した防災情報一斉配信システムを導入し、気象庁の警報発表と連動し、英語、中国語、韓国語の自動配信が実現。また多言語対応のウェブ版防災マップも導入し、避難所や警戒区域を確認できる。

問 沖縄タイムス本年3月の調査で県内市町村の39%が「現在の体制では災害時対応が困難」と回答。町の現状認識と課題は

答 自主防災組織の育成や防災訓練、避難所運営訓練等を通じて、地域防災力の向上に努め、関係機関と連携しながら、災害対応力の強化に取り組む。

問 水位センサーや監視カメラ、スピーカー等を設置し、危ない際避難を呼びかける対応ができるのか

答 河川の安全管理、防災、また未然に防ぐ等の技術の工夫を持っているのは県。しっか

問 水位センサーや監視カメラ、スピーカー等を設置し、危ない際避難を呼びかける対応ができるのか

答 河川の安全管理、防災、また未然に防ぐ等の技術の工夫を持っているのは県。しっか



町民の健康相談は保健相談センターで実施

問 現在、PFAS汚染に関する健康相談窓口は設置されているか

答 健康相談は、保健相談センターにおいて実施。PFAS等の相談も、保健師にて対応。

PFOS・PFOA等を問う

問 住民への血液検査実施に向けた国・県への補助申請を行ったことがあるか

答 国、県によるPFAS等に関する血中濃度検査に対する補助金制度はないため、申請を行ってない。

米軍憲兵隊(MP)のパトロールについて

問 事前の説明はあったか

答 実施に先立ち、米軍から本町に対し、事件・事故の未然防止を目的として実施すると説明を受けた。

問 県が血液検査の実施方式の検討を進めている。町として速やかに参加、活用できる体制を整えているか

答 参加、活用できる体制を整えていく。



Q 避難行動要支援者の名簿における個別避難計画の作成率は



A 対象者441名に対して52名が作成済。11.8%

詳しくは動画をCheck

地域福祉と防災を問う

問 避難行動要支援者の個別避難計画が進んでいない要因は

答 対象者に同意のための手紙を送っているが、約6割の回答がない。当事者が災害に備える事の理解促進が十分に伝わっていない。

問 先日白比川が氾濫したが、白比川流域の要支援者の人数と個別避難計画の策定状況は

答 要支援者数は6人で、内1人の個別避難計画が作成されている。

問 川の氾濫だけではなく、地震や津波など災害が生じれば、大きく影響を受けるのは高齢者や障がい者である。課題の分析を含めた今後の取り組みは

答 社会福祉協議会が各自治会で実施しているネットワーク会議等に、対象者を訪問してもらい個別避難計画の同意について、促しをお願いする。その他にも、ケアマネージャー等にも協力を呼びかける。



地域のつながりに力を災害に強いまちづくり

子育て支援は

問 今年度より開始されたことも誰でも通園制度の利用者数は

答 6月1日現在43人。

問 利用する保護者の市町村別利用者数とその理由は

答 4月は町内在住者10人、5月は町内在住者13人、沖縄市在住者1人。利用目的は制度の趣旨上把握していない。

問 利用希望があったが受け入れが出来なかったケースは

答 利用人数の上限は、午前・午後ともに5人が上限となっているが、予約が埋まったのは一度だけであり、希望する日に利用できていると考えられる。



子育て世帯の安心を支える支援の充実を目指して

問 事業導入後には保育士の負担増も懸念されていたが影響は

答 今年度4月から専任の保育士を3人配置して対応している。既存の園児にも支障は出ておらず、職員配置に余裕が生まれ、より質の高い保育が実現できている。

問 実際に利用した保護者からの意見や要望はあるか

答 意見としては、同じ年代の子ども達と関わる姿を見て安心したなど概ね高評価をいただいている。要望は申込みの期限を7日前から3日前にして欲しいなどが挙げられる。

問 そのような要望に柔軟に検討しているのか

答 システムの運営や受入体制を踏まえながら検討。

学校運営について

問 スクールロイヤー制度が導入されたが、活用件数と内容は

答 6月1日現在6件。研修及び授業での講習依頼が2件、児童生徒に関する相談が4件。

ほかに、次の質問をしました。
●福祉事業について
●若者・青少年支援について



Q 高齢者の買い物支援や移動支援の現状は

A えぐち商店、カフェ桑江などの移動販売などの情報をまとめた「みつばち手帳」、介護タクシーによる無料送迎など実施



詳しくは動画をCheck



高齢者が安心して
住み続けられるまちづくりを

問 地域公共交通の課題は
答 高齢者の移動手段の確保は重要な課題であると認識。路線バス、タクシー、コミュニティ

高齢者支援と地域交通

問 高齢者の買い物支援、医療機関通院等の移動支援の現状は
答 買い物支援は、栄口区のえぐち商店、桑江区のカフェ桑江などの移動販売と民間事業者による宅配やネットスーパーのサービスも充実。高齢者の生活に役立つ情報などをまとめた「みつばち手帳」で利用可能なサービスを紹介。移動支援は、貯筋クラブ等の利用者のうち、自宅から実施場所まで歩いて通うことが困難な方を対象に介護タクシーによる無料送迎を実施。コミュニティバスの利用案内なども行っている。

バスに関する情報を網羅的に掲載した公共交通総合マップを今年度作成する予定。

問 高齢者が安心して暮らせる施策強化の取組は
答 様々な高齢者福祉事業を実施。地域包括ケアシステムの充実強化に努めている。

若者、子育て世帯の定住支援を問う

問 子育て世帯向け住宅支援制度の現状は

答 町営住宅の空き家待ち抽選に際して子育て世帯の当選確率を2倍とする優遇措置や單身世帯と多子世帯の住居ミスマッチを解消するための住み替えにも対応。県営住宅の建て替えタイミングに合わせた戸数増加を要望。令和7年度からは沖縄県と連携し子育て世帯等の住宅確保要配慮者対象とした住宅確保要配慮者専用賃貸住宅家賃低廉化事業を開始。

県道23号線交通安全対策

問 県道23号線や美浜周辺では、横断歩道以外で横断する姿が見られ非常に危険な状態で事故リスクも高まっている。横断事故や横断歩道外の横断について実態把握しているか



住宅支援制度を見直し、新たな住宅施策を！

問 町有地を活用した住宅施策の可能性とPF1など民間活力を活用した住宅整備の考えは

答 多角的な視点からの慎重な検討が必要。北谷町住生活基本計画の更新機会に、町民をはじめ有識者等の専門家や民間事業者等の意見を聴取し今後検討する。



Q PFASについて、どのような結果や状況が確認されれば独自調査が必要だと判断するのか

A それぞれのケースに応じて必要性を検討する



詳しくは動画をCheck

PFASについて

問 米軍が嘉手納基地内で実施したPFAS等の分析調査について、本年5月に防衛局等を通して文書が確認出来た。憲法や国内法、国際人権法の理念に照らし、住民に最も近い行政主体として主体的な情報収集及び住民への情報提供は重要であると認識しているが、これらの文書について内容の確認や追加的な情報収集を行う考えは
答 本年5月に防衛局から当該調査に係る説明を受け、追加で照会を行い、嘉手納基地内におけるPFAS等を含有する泡消火剤は2024年4月までに全て焼却処分をし、現在は代替消火剤への交換を完了している旨の説明を受けた。

問 町が調査結果を求めたのは令和元年あたりで7年経過しているが本員の請求だと1年程で入手できた。町は行政文書開示請求等を活用して情報収集をすべきだと考えるが
答 開示請求は沖縄県としても可能なので県にも情報収集を

行っていただきたい。

問 町は基地内立ち入り、環境調査、情報収集、住民への情報提供等について何らかの制約があると考えているのか。あるなら法的、制度的、財政的3つの観点から見解を伺う
答 町独自で実施するのではなく、県全体として連携して進めるのが重要だと考える。

問 令和3年度に町が三連協を通して行った要請文には人権及び平穏な生活を守る立場からと明記されている。ここで用いられた人権とは具体的にどのような権利を想定しているのか
答 地域の湧水や河川からPF



主体的な情報収集及び住民への情報提供を求める！

AS等が検出されることにより、安全な水を生活で使うことが制限されている等の観点。

児童館の開館時間

問 令和7年度の夏休みにおいて、補正予算を活用し通常10時開館の児童館は9時開館となった。今年度の夏休みにおいても9時開館の予定か
答 今年度の夏休み期間中においても午前9時開館する予定で、現在職員の募集を行っている。



長期休暇も子どもたちが安心して過ごせる居場所の確保を

問 必要な人員が確保できなかった場合の対応は

答 6月に入り3名の採用が見込める状況となっている。計画通り人員確保出来なかった場合は、各児童館と調整し、既存の職員の時間外勤務などで調整したい。

問 夏休み以外の長期休暇の対応は

答 春休みにおいても約3週間程度の休暇となっており、子ども達が安心して過ごせる居場所確保の観点からも児童館と調整して対応する。

ほかに、次の質問をしました。

● 民間建設工事に伴う粉塵被害の対応について

● 北谷公園水泳プールの利用状況と運営について

● 北前区内道路の危険箇所の改善について

答 沖縄警察署に確認したところ「令和7年1月から令和8年5月までの期間における横断者の人身事故は1件」とのこと。横断歩道外での横断件数等を独自に把握していないが、横断歩道以外の場所での横断は交通事故の危険性を高める行為であると認識。そのため沖縄警察署や沖縄県と連携し歩行者と運転者に対して交通ルールを守る交通安全意識の醸成に努めている。

ほかに、次の質問をしました。
● 基地負担と住環境について

12代の歩みを支えてくださった町民の皆さまに
心より感謝申し上げます。



19 仲地 泰夫 議長

議席順で配置



13 仲栄真 恵美子



14 又吉 朋和



15 興儀 誠



16 阿波根 弘



17 高安 克成



18 玉那覇 淑子



7 友利 勉



8 照屋 正治



9 大浜 ヤス子



10 宮里 廣



11 喜友名 朝哲



12 喜友名 盛光



1 仲宗根 由美



2 新垣 千秋



3 津嘉山 えり子



4 宮里 勉



5 奥平 紋子



6 平田 潤一郎

4年間を振り返り



第12代北谷町議会議長
仲地 泰夫

町民の皆さまをはじめ、多くの方々に様々な面でご協力を賜り、心より感謝申し上げます。令和4年9月定例会において、第12代北谷町議会議長を拝命し、北谷町の発展のため全力で取り組んでまいりました。この4年間、コロナ禍からの回復、世界情勢の緊迫化や物価高騰など、社会情勢が大きく変化する中、町政施行45周年を迎えることができたことは大きな喜びでした。また、北谷町議会基本条例の制定は、より開かれた議会への前進につながるものと受け止めております。議長在任中の多くの出会いは、私にとってかけがえのない財産となりました。今後も、皆様方と共に、北谷町の発展のため町民の立場で全力を尽くしてまいります。

これまで支えてくださった全ての皆さまに感謝申し上げますとともに、今後とも町議会へのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

議会だよりを通して、町民の皆さまに議会をより身近に感じていただけるよう取り組んでまいりました。これからも、町民の皆さまの声と議会をつなぐ広報を目指してまいります。

議会広報調査特別委員会 一同

任期満了に伴う沖縄県知事選挙・北谷町議会議員選挙

選挙の期日 令和8年9月13日(日) あなたの1票をまちの未来へ



令和8年9月定例会は、9月29日(火)から開催予定

